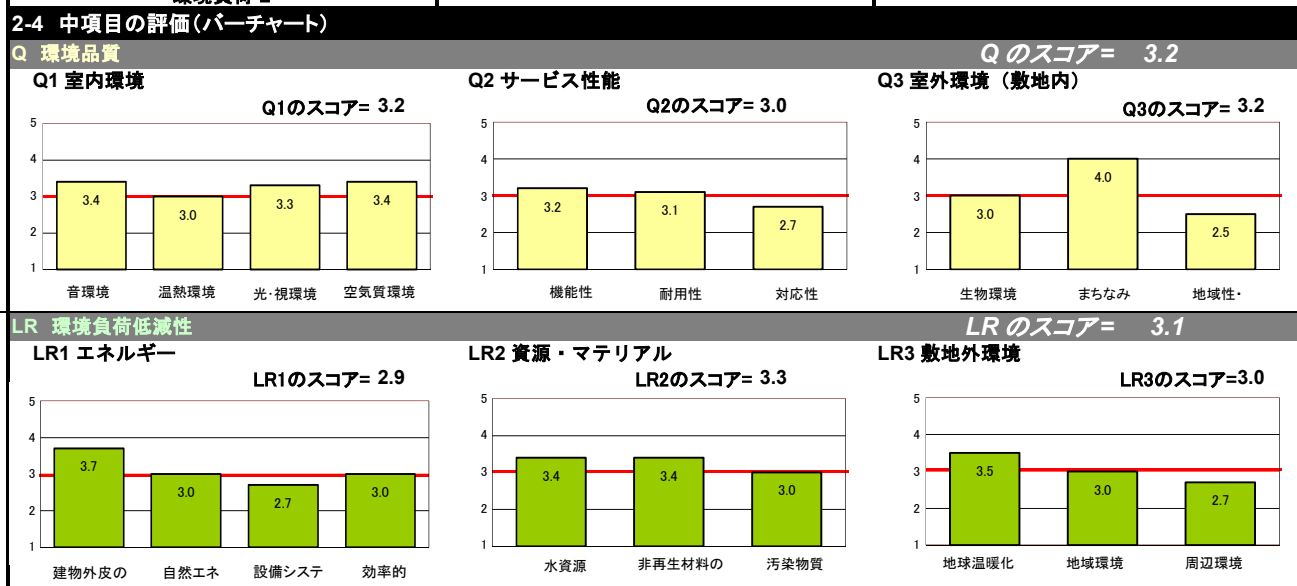
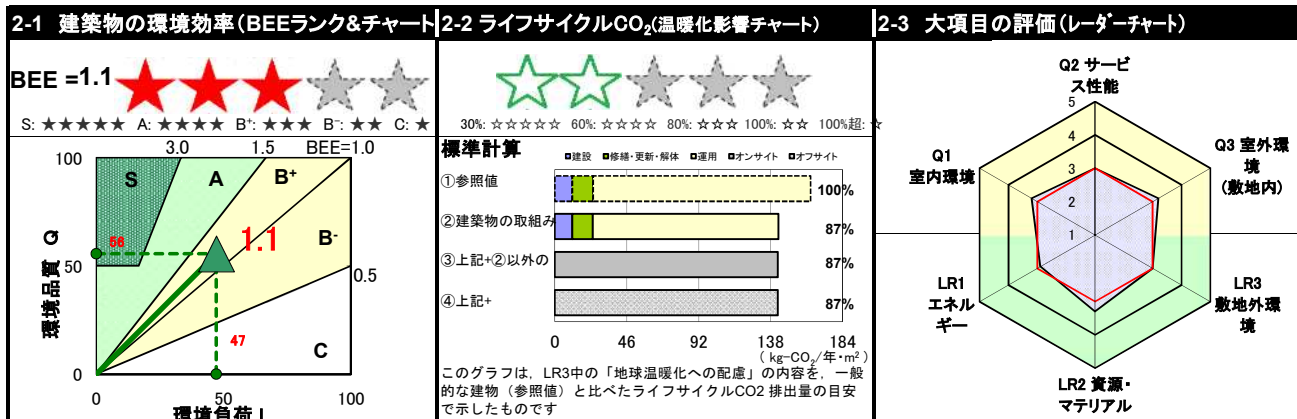


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 京都二条ホテル計画	階数	地上8F
建設地	京都市中京区西ノ京職司町22番地7他	構造	S造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年6月1日
敷地面積	1,726.70 m ²	作成者	一般建築士事務所 株式会社 東洋設計事務所 代表取締役 藤原 真史
建築面積	1,347.24 m ²	確認日	2019年6月1日
延床面積	6,610.24 m ²	確認者	一般建築士事務所 株式会社 東洋設計事務所 代表取締役 藤原 真史



3 設計上の配慮事項		
総合	限られた敷地に、できる限りの緑地と中高木の採用で生物資源の保護、節水型便器の採用で水資源の保護に配慮しており、資源保全に配慮した設計になっている	その他 特に無し
Q1 室内環境	昼光率 5.8% 遮音性の高い建具を使用	Q2 サービス性能 耐用年数の高い部材を採用している
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化指数 70.62% ≥ 50%	Q3 室外環境(敷地外)
LR1 エネルギー	BPI _m =0.92 BEI _m =0.85	LR2 資源・マテリアル 節水コマ・節水型便器の採用により、水資源の保護に配慮している
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率 87%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される